



ご寄贈いただいた本やCD、DVDなどを紹介するコーナーです。

ほかほかソフト



原発とめよう秩父人
2022年カレンダー

【A4 版 p32 / ¥700 (千別) / <https://chichibujin.com/>】

表紙、各月など計15人のアーティストの絵、写真などのほか、飯館村村議の佐藤八郎、他、全国原発マップ、廃炉工程表、原発関連賠償裁判、運転差し止め訴訟、原発を断った街などの情報があふれている。

首里城再建に使われようとしている石垣島のマザーツリーを助けて！ 11月には伐採か？

国の「首里城復元に向けた技術検討委員会」は、令和2年3月27日に「首里城にしようされていたと推定されているオキナワウラジロガシの活用が望ましい」という理由で、直径47センチ、長さ7メートルの材が取れ、かつ環境に配慮した伐採が可能なものとして、石垣島崎枝地区の屋良部岳に生息する天然のドングリの巨木オキナワウラジロガシ（使用する6本の巨木のうち5本）を伐採することをほとんど調査をせず地元の説明しないまま決めました。

オキナワウラジロガシは別名ヤエヤマウラジロガシと呼び、日本最大のドングリ4~5センチの実をつける屋良部岳周辺の生態系に重要な役割をもつ樹木です。伐採されようとしているマザーツリーたちは、山に住むイノシシや小動物、鳥、昆虫の命を繋ぎ、水を根に

蓄えてサンゴの海に栄養豊富な地下水を運び、何千年に渡って山や海を守ってきました。

森の命マザーツリーの伐採は早くて11月上旬に始まります。伐採搬送しやすい場所からという理由で屋良部岳から集中して伐採するのはやめ、他の材料で首里城再建を進めてください。

→ <https://ux.nu/umiTM>

首里城再建には異論はない。
鉄筋コンクリートと新建材を使用
し、「自然を壊さない沖縄県」「自然
木を使わないで首里城再建」をめざ
すべき。

オキナワウラジロガシの巨樹は石垣
島にもごく少数しか生息しない希少
で「日本一大きなドングリの木」と
して親しまれてきた。屋良部山麓は
「聖地」として地元民が大切に守っ
てきた森。伐採は土砂で海を汚し珊
瑚礁にも悪影響を及ぼす。

かつて琉球王朝は「人頭税」という



重税で石垣島、宮古島地方住民を苦しめてきた歴史がある。取奪する歴史を繰り返さないで、わずかに生き残った巨樹を島から持ち去るのは止めよう。

戦後に植林したりリュウキュウマツなどを代替の木として使用し、世界遺産登録の沖繩県、島々にふさわしい選択で世界に称賛される首里城再建を。

SDG'sの持続可能なシンボルとして「つくる責任とつかう責任」人や自然に負担を掛けず、生態系を守るべき。